

授業概要

次代を担う子供たちには、社会の変化に主体的に対応し、他者と協働して様々な課題を解決していく資質・能力が求められています。本講義では、小・中学校の教諭や管理職、教育行政に関わってきた実務経験を生かし、小・中学校での「総合的な学習の時間」における優れた授業や具体的な実践事例を示しながら、教育方法の基礎的な知識と技術及び学習指導の実際を講義します。また、模擬授業を通して、子供たちの実態に即した「総合的な学習の時間」の授業構成や学習指導と評価について学び、実践的な指導力の基礎を培います。

授業計画

第 1 回	学校教育の目標と教育方法
第 2 回	児童理解と教育計画
第 3 回	「総合的な学習の時間」の目標と内容構成
第 4 回	実践に学ぶ① ～学校における目標及び内容の実際～
第 5 回	「総合的な学習の時間」の指導計画の作成
第 6 回	実践に学ぶ② ～学校における指導計画の作成の実際～
第 7 回	学習指導と評価 主体的で対話的な学び
第 8 回	「総合的な学習の時間」の学習指導と評価 探求的な学習過程における学び
第 9 回	実践に学ぶ③ ～学校における学習指導の展開と学習評価の実際～
第 10 回	「総合的な学習の時間」の授業と探求的な学び（学習指導案）
第 11 回	模擬授業① ～「総合的な学習の時間」における授業の導入の工夫～
第 12 回	模擬授業② ～教材教具及び ICT の効果的な活用～
第 13 回	模擬授業③ ～授業における PDCA サイクル～
第 14 回	模擬授業④ ～協同的な学びと小中連携、異学年交流～
第 15 回	模擬授業⑤ ～学習環境の充実と情報発信～
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・「総合的な学習の時間」のねらいと内容構成、指導計画、学習指導と評価、教材教具の作成及び ICT の活用に
関する知識を身に付けることができる
- ・子供たちの発達を支援する授業展開が可能な技術を習得できる。

履修上の注意

- 1 指導計画、学習指導案の作成（次回までの課題がある）を実際に行う。
- 2 全員が模擬授業の準備（教材教具、ICT 活用等）をする。
- 3 毎回、講義終了時にふりかえりのための確認評価テストを実施する。

予習・復習

- 1 講義受講前に、該当の学習指導要領の解説編を熟読し、理解の上授業に出席すること。
- 2 次回提出の課題（講義の予習）を確実にを行い、講義に出席すること。

評価方法

レポート課題（指導計画等）20%、模擬授業（学習指導案・教材教具の作成等を含む）20%
毎時間のふりかえり確認評価30%、最終筆記試験30%

テキスト

- ・教科書名：小学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間編」
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東洋館出版社
- ・出版年（ISBN）：平成29年7月

授業概要

次代を担う子供たちには、社会の変化に主体的に対応し、他者と協働して様々な課題を解決していく資質・能力が求められています。本講義では、小・中学校の教諭や管理職、教育行政に関わってきた実務経験を生かし、小・中学校での「総合的な学習の時間」における優れた授業や具体的な実践事例を示しながら、教育方法の基礎的な知識と技術及び学習指導の実際を講義します。また、模擬授業を通して、子供たちの実態に即した「総合的な学習の時間」の授業構成や学習指導と評価について学び、実践的な指導力の基礎を培います。

授業計画

第 1 回	学校教育の目標と教育方法
第 2 回	生徒理解と教育計画
第 3 回	「総合的な学習の時間」の目標と内容構成
第 4 回	実践に学ぶ① ～学校における目標及び内容の実際～
第 5 回	「総合的な学習の時間」の指導計画の作成
第 6 回	実践に学ぶ② ～学校における指導計画の作成の実際～
第 7 回	学習指導と評価 主体的で対話的な学び
第 8 回	「総合的な学習の時間」の学習指導と評価 探求的な学習過程における学び
第 9 回	実践に学ぶ③ ～学校における学習指導の展開と学習評価の実際～
第 10 回	「総合的な学習の時間」の授業と探求的な学び（学習指導案）
第 11 回	模擬授業① ～「総合的な学習の時間」における授業の導入の工夫～
第 12 回	模擬授業② ～教材教具及び ICT の効果的な活用～
第 13 回	模擬授業③ ～授業における PDCA サイクル～
第 14 回	模擬授業④ ～協同的な学びと小中連携、異学年交流～
第 15 回	模擬授業⑤ ～学習環境の充実と情報発信～
第 16 回	定期試験

到達目標

- ・「総合的な学習の時間」のねらいと内容構成、指導計画、学習指導と評価、教材教具の作成及び ICT の活用に関する知識を身に付けることができる。
- ・子供たちの発達を支援する授業展開が可能な技術を習得できる

履修上の注意

- 1 指導計画、学習指導案の作成（次回までの課題がある）を実際に行う。
- 2 全員が模擬授業の準備（教材教具、ICT 活用等）をする。
- 3 毎回、講義終了時にふりかえりのための確認評価テストを実施する。

予習・復習

- 1 講義受講前に、該当の学習指導要領の解説編を熟読し、理解の上授業に出席すること。
- 2 次回提出の課題（講義の予習）を確実に言い、講義に出席すること。

評価方法

レポート課題（指導計画等）20%、模擬授業（学習指導案・教材教具の作成等を含む）20%
毎時間のふりかえり確認評価30%、最終筆記試験30%

テキスト

- ・教科書名：中学校学習指導要領（平成29年告示）解説「総合的な学習の時間編」
- ・著者名：文部科学省
- ・出版社名：東山書房
- ・出版年（ISBN）：平成29年7月